



編集・発行
新潟県国保診療施設協議会
新潟市中央区新光町7番地1
新潟県国民健康保険団体連合会
電話 025-285-3030

発行代表者
新潟県国保診療施設協議会
会長 藤森 勝也

新潟県国保診療施設協議会 藤森会長所感

新潟県国保協では、令和2年7月の総会において役員任期満了に伴い、役員改選が行われました。その後、選出された役員による運営委員会において、藤森勝也氏が会長に選出され、2期目をスタートしました。そこで今号では、藤森会長から地域包括医療ケアに取り組みられている本協議会会員施設の皆様へ会長所感をお届けすることとしました。



新潟県国民健康保険診療施設協議会
会長 藤森 勝也
(あがの市民病院 院長)

新型コロナウイルスの 一日でも早い収束を願って

新型コロナウイルス感染が、世界で認識されて、早1年以上が経過いたしました。

しかし、全国では新型コロナウイルス感染拡大が続いております。新潟県でも、原稿執筆時で、ほぼ連日感染者が報告されています。会員の皆様の施設でも、発熱者の受診が多くなっており、新型コロナウイルス感染が否かなど、診断と治療のために、ご苦労されておられることでしょう。

また、自身や職員、その家族の健康状況のチェック等、気遣いされておられることとお察しいたします。

このウイルスを制圧するためには、まず感染者を少なくすることが大切です。自身やそのご家族、職員の皆様には、十分ご理解いただき、マスク着用、手洗い、3密を避け、新しい生活様式で行動することを継続いたしましょう。地道に1人でも感染者を減らしていく努力をしてまいりましょう。

次に、この感染症の速やかな診断です。診断し隔離することで、感染拡大が制御されます。

そのためには、積極的に抗原定性検査、唾液や鼻咽頭のPCR検査などを組み合わせ、診断していきましょう。

そして、政府が奨めるワクチン接種事業への協力です。

当院では行政や医師会と協力して、まずは高齢者の方々に、不安なく接種していただけるような仕組み作りを協議中です。

具体的には、病院で連日午後の時間帯に接種するとともに、土曜日も設定して、接種する体制を考えています。地域医師会の先生方は、集団接種する会場に集まり、協力して行います。

ただ、課題も山積みです。対象人数が多く、2回接種であり、膨大な接種回数を確保するには、やはり、人員の確保が最大の課題となります。医師、看護師、事務職員をいかに連日確保していくのかです。

ただでさえ、感染拡大下で、医療関係者の肉体的、精神的、社会的負担が高まっているのです。

しかし、このウイルスには負けられません。自治体と協力しやすい国保診療施設の力の発揮しどころとも考えられます。

【次項に続く】

このように、国民の間で感染予防が徹底され、医療機関等で金銭的負担少なくPCR検査が気軽に行え、ワクチン接種が進み、早く感染制御がなされ、経済活動が元に戻ることを願っております。オリンピック、パラリンピックは、ぜひとも開催していただきたいと願っております。

そして、それぞれの施設で、普段通りこれまで通りの健診、診察、検査、治療、各種事業（健康教室・講座、施設での七夕やクリスマスコンサートなどの各種イベント等）が実施できることを祈っております。

全国国診協・本県国診協主要会議の中止

令和2年度は、全国国保地域医療学会（予定は、北海道札幌市で9月開催）、地域医療現地研究会（予定は、福島県福島市で5月開催）、東北地方国保診療施設協議会（予定は、山形県で9月開催）ができませんでした。

新潟県では、恒例の医療セミナー（予定は、新潟市で11月開催）ができません

んでした。会員の皆様と交流できず、大変残念な1年でした。

令和3年1月には、東京にて地域包括医療ケア研修会が、「web開催プラス現地開催」のハイブリッド方式にて行われました。新しい形として、感染症流行下では、今後も考えていかねばならない方法です。

本県国診協畠山副会長の「全国国保地域医療学会最優秀研究表彰」

一方、うれしいニュースがありました。副会長の上越市国保清里診療所長の畠山牧男先生が、「全国国保地域医療学会優秀研究表彰」で、最優秀賞に選ばれました。

表彰式は、ハイブリッド方式で開催されました地域包括医療ケア研修会で行われました。

また、私事で恐縮ですが、住友生命福祉文化財団から、「第14回地域医療貢献奨励賞」をいただき、令和3年2月に授賞式がありました。

残念ながら、緊急事態宣言が発令さ

れており、県民が外出自粛している最中ですので、現地（東京）出席を控えさせていただきます。

「地域包括医療ケア」の実践にむけて

国保診療施設は、それぞれの地で、行政と協力して、「地域包括医療ケア」を実践しています。この取り組みが評価され、それぞれの受賞につながっていると考えております。

菅義偉内閣総理大臣は、就任以来、よく「目指す社会像は、自助、共助、公助、そして絆だ」と述べられておりますが、まさに国保診療施設がこれまで取り組んできたことであり、この継続と充実が大切だということと理解しています。

令和4年第36回地域医療現地研究会新潟県開催にむけて

最後に、会員の皆様にお伝えしておきたいことがあります。令和4年の

地域医療現地研究会を新潟県で行うこ

とになりました。

会期は、令和4年5月13日（金）から14日（土）にかけてで、当院を会場として実施する予定です。

テーマは、「日本一の米どころ、酒どころ新潟で語り合おう、わが街の地域包括医療ケア」とさせていただきます。現在、新潟県の役員の皆様や事務局とで、運営資金（企業からの広告料等）調達、開催様式（web開催と現地開催でのハイブリッド方式予定）、業務委託業者選定など、検討しております。

新潟県での開催をぜひ成功させたいと考えておりますので、会員の皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

ここまでの令和2年度を振り返るとともに、令和3年度の展望として、感染が制御され、会員の皆様とともに、「地域包括医療ケア」に十分に組み入れる年となりますことを願ってやみません。

第24回優秀研究表彰
最優秀研究受賞

第59回全国国保地域医療学会（令和元年長崎県開催）において発表された研究発表272題の中から、推薦された45題を全国国診協内設置の優秀研究選出委員会で厳正な審査の結果、「在宅医療の実態と変遷を10年前と比較した本研究は、今後の国保診療施設の在宅医療を進めていくうえでの課題を明確化している」と評価され、本県国診協 畠山牧男副会長（上越市国民健康保険清里診療所長）の研究論文が第24回優秀研究表彰の「最優秀研究」を受賞されました。本県協議会から初受賞となります。

優秀研究表彰は、全国国民健康保険診療施設協議会の会員各位並びに会員施設職員の日頃の活動や研究努力を讃えるとともに、全国の国民健康保険診療施設の仲間たちにこの研究成果を今後の保健・医療・介護・福祉活動に役立ててもらうため、特に優れた研究発表を表彰しております。

畠山副会長は、無医村だった清里村（現・上越市清里区）の上越市国民健康保険清里診療所に、平成16年に着任されました。

ケアマネージャーや保健師と連携した往診に基づく在宅医療に取り組み、寝たきりの高齢者の減少に貢献されています。

また、令和2年1月には、「第48回医療功労賞」（読売新聞社主催、厚生労働省など後援）を受賞されています。



新潟県国民健康保険診療施設協議会
副会長 畠山 牧男

（上越市国民健康保険清里診療所 所長）

畠山副会長より
喜びのコメント

「研究論文演題」

中山間部での在宅医療の実態と変遷
10年前の調査との比較・検討



研究発表時の様子

この度、私の第59回全国国保地域医療学会での研究発表が最優秀表彰を受けましたこと、大変感激しております。

ここに、私の清里区での医療活動を支えていただきました新潟県国保連合会の方々には厚く感謝申し上げます。

さて、私の研究は上越市清里区での10年間にわたる在宅医療を分析したものです。そこから以下のような事がわかりました。

①適切な高血圧対策により、清里区では重症高血圧患者が減り、要介護3以上に入る方も減った。

②健康年齢は10年間で5歳延びた。

③在宅医療の原因疾患は脳血管障害や癌は減少したが、認知症慢性の心・腎・肺疾患、老衰、骨折などが増えた。

④健康年齢は延びたが、在宅患者の数も、亡くなるまでの在宅期間も、残念ながらあまり変わらなかった。

地域における高血圧などの予防対策は、健康寿命を延ばし、要介護状態を減らす上で重要です。

今後は更に、認知症、慢性の心・腎・肺疾患、骨折・骨粗しょう症などを予防する事が更なる課題と考えます。

それにもかかわらず、人生の最後の介護を要する数年の期間を、地域全体で支えていく事も、また大切と考えます。

私の拙い研究が今後の地域医療に少しでも役立てばと思っています。



第59回地域医療学会

**第36回
地域医療現地研究会
新潟県開催**

【会 期】

令和4年5月13日(金)～14日(土)

【メインテーマ】

日本一の米どころ、
酒どころ新潟で語り合おう、
わが街の地域包括医療ケア
～白鳥の飛来する地で実践する地
域医療 愛着ある地域医療をみ
つめて～

【会 場】

あがの市民病院(予定)

【視察施設】

- ・あがの市民病院
- ・あがの市民病院 介護医療院
- ・阿賀野市 水原保健センター

【目 的】

保健・医療・介護・福祉(統合)
による地域 包括医療・ケアの推
進を図るため、国民健康保険診療施設
関係者が一堂に会し、施設視察、研
究討議を行うことを目的とする。

【対 象】

国民健康保険診療施設に勤務する
全ての職員及び国民健康保険関係者
等並びに志を同じくする者。



令和3年度 行事・会議予定

新潟県国保診療施設協議会

- 新潟県国保診療施設協議会総会
7月中旬
- 新潟県国保診療施設協議会運営委員会
令和3年7月中旬・令和4年3月中旬
- 令和3年度新潟県国保診療施設医療セミナー
11月下旬(新潟市開催予定)

全国国保診療施設協議会・東北地方国保診療施設協議会

- 第35回地域医療現地研究会
令和3年5月14日(金)～15日(土) 三重県※中止
- 全国国保診療施設協議会定時社員総会
令和3年6月18日(金) 東京都
- 東北地方国保診療施設協議会会長会議・連絡会議
令和3年9月17日(金) 秋田県秋田市
- 国保直診口腔保健研修会
令和3年10月7日(木) 岡山県岡山市
- 第61回全国国保地域医療学会
令和3年10月8日(金)～9日(土) 岡山県
- 地域包括医療・ケア研修会
令和4年1月14日(金)～15日(土) 東京都
- 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議
令和4年2月18日(金) 東京都